

# ASEAN経済の自由化によって 成長加速が期待される民間病院グループ

**nikko am**  
fund academy

楽読(ラクヨミ)

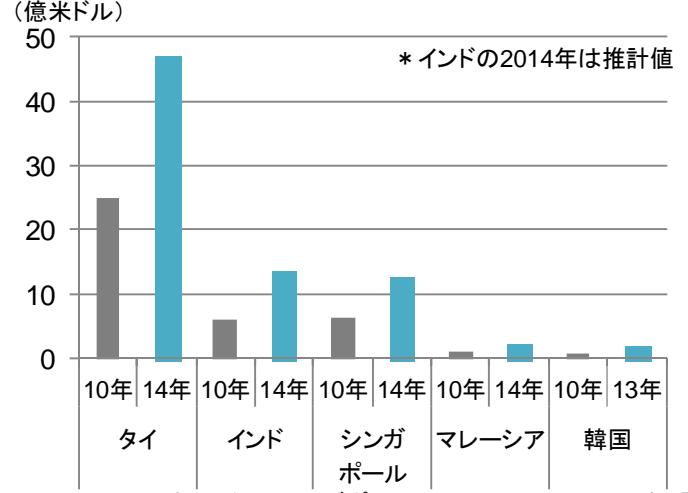
ASEAN(東南アジア諸国連合)域内で「ヒト・モノ・カネ」の自由化をめざす、AEC(ASEAN経済共同体)が2015年末に発足する予定です。完全な市場統合はまだ先になるとみられるものの、関税撤廃や熟練労働者の移動解禁、出資の規制緩和などが進むことで、人口約6億人の巨大市場が誕生し、インフラ投資やヘルスケア、物流などの需要が増加して、経済成長を押し上げると期待されています。

なかでも民間病院グループは、統合の恩恵を受ける業種の一つとみられています。ASEAN各国は、医療の底上げをめざし、国民皆保険に向けて動き出しているものの、各国の財源が限られているうえ、公的な医療インフラも不十分であることなどから、民間病院が医療の中心的な役割を果たしています。ASEANの代表的な民間病院グループは、JCI(医療機関を評価する国際的な認証制度)認証を受けるなど医療水準が高く、複数の国にまたがって事業展開し、地域の様々な文化に対応したきめ細やかなサービスを提供するなど、国際的に高い競争力を有しています。そのため、経済的に余裕のある患者は、公的病院の長い行列と待ち時間を嫌い、自己負担で医療費を支払っても民間病院を選ぶ傾向にあります。

民間病院は都市部中心に展開しており、AECによるヒトの移動の自由化や、LCC(格安航空会社)・鉄道などの発達によって都市間の移動がさらに容易になると、医療ツーリズムを目的に国境を越える患者も増えるとみられるほか、経済成長により所得が増えれば、民間病院への需要もさらに増加すると期待されます。また、AECによって、今後、医師免許の相互承認などの規制緩和や医療基準の統一化が進めば、民間病院のさらなる国際競争力の強化にもつながると考えられます。

ASEANは、国単位では経済規模が小さい傾向にあり、文化や言語が多様であることなどから、難しい市場といわれています。しかし、AECにより巨大な市場として統合が進むとみられるなか、地域の特性に対応しながら、国際展開する民間病院グループは、ASEANのヘルスケア産業をけん引していくものと期待されます。

## アジアの医療ツーリズムの市場規模



※上記のうち、タイ、シンガポール、マレーシアはASEAN加盟国  
(出所: KONCEPT ANALYTICS「Medical Tourism Market Report: 2015 Edition」)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## (ご参考)ASEANの民間病院グループ

時価総額トップ5 (2015年10月末時点)

	銘柄名	本拠地	時価総額
1	IHHヘルスケア	マレーシア	約1.5兆円
2	バンコク・ドゥシット・メディカル・サービス	タイ	約1兆円
3	バムルンラード病院	タイ	約5,300億円
4	ミトラ・クルアガ・カヤセハット	インドネシア	約3,600億円
5	ラッフルズ・メディカル・グループ	シンガポール	約2,100億円

※世界の株式市場に上場する医療施設関連銘柄

※時価総額は、米ドルベースの値を1米ドル=120.6円で円換算

※掲載銘柄について売買などを推奨するものではありません。また、弊社ファンドにおける保有の有無、並びに将来の組み入れもしくは売却を示唆するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧説資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。